

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (三次市立川地小学校)

- ① 教科等 総合的な学習の時間 ② 学年 第5学年
- ③ 単元名 江の川 探検隊
- ④ 本時の目標 江の川について自分たちが体験したり調べたりしたことを、相手に分かりやすく伝えるために、話し合いながら見直すことができる。
- ⑤ 学習の流れ (8時間目/全13時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 これまでの学習を振り返り、学習課題を確認する。	・これまでの学習内容を振り返り本時の位置付けを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い新聞にしようとして、自分の意見を考えたり友達の意見を聞いたりしながらグループの中で意見を出している。 〔学び方やものの見方〕 (行動観察, 発言)
お互いの新聞を交流して、よい所やもっとよくするところを見つけよう。		
2 グループごとに新聞を交流し、気付いた事を付箋に書きいいところを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を書くときの視点から見つけるように指示する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・見出しにインパクトがあるのがいい。 ・見出しが語りかけになっていて読み手をひきつけている。 </div>	
3 グループごとに書かれた意見をもとに改善するところを話し合い交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 書かれた意見の一つを選んで、その意見に対して自分たちはどう考えたのかを話し合わせる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・読みやすくするため、記事の量をすっきりさせる工夫をするとうい。 ・記事と写真や絵のバランスを考えると良い。 </div>	
4 ゲストティーチャーからアドバイスを聞く。 5 振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・よく書いているところと改善したらよくなることについて話してもらおうよう依頼しておく。 ・友達の意見やゲストティーチャーの話聞き、学習した内容を振り返らせる。 	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 提示した視点に着目して、書かれた意見に対してどのように考え改善していくか、理由を付けながら話すことでお互いの気付きを高めることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 視点を明確にしてから新聞を見る時間を設ける。
- 個の考えを明確にさせるために一人ひとり付箋に書かせる。
- 付箋に書かれた意見をもとに班で話し合い理由を述べながら発表させる。